

2026年3月2日(月)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

## 桜の花エキス「AGEs 産生抑制」に関する特許が タイにて特許査定

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役:村井弘道、以下「オリザ油化」)が開発した桜の花エキスに関するAGEs(終末糖化産物)産生抑制技術について、このたびタイにおいて特許査定を受けました。

当社では、桜の花に含まれる機能性成分に着目し、フェニルプロパノイド配糖体であるカフェオイルグルコース(1-caffeoyl-O-β-D-glucopyranoside)およびフラボノイド配糖体であるケルセチングルコシド(querletin 3-O-β-D-glucopyranoside)を含有するエキスの開発に成功しました。

### ■ 期待される美容・健康効果(機能性評価)

本エキスの機能性評価の結果、以下の作用が確認されています。

- シワやたるみの原因となるコラーゲンの糖化を抑制する抗糖化作用
- 線維芽細胞におけるコラーゲン格子形成の増加作用
- 皮膚老化の主要因とされるAGEsの産生抑制作用



これらの成果により、本エキスはアンチエイジング用途の機能性食品素材および化粧品原料としての活用が期待されています。

さらに、本桜の花エキスはタイ食品医薬品局(Thai FDA)による使用許可承認を受理済みであり、タイをはじめとするASEAN地域において、健康食品素材および化粧品原料としての展開が可能となっています。

当社は今後も、日本発の天然由来機能性素材の研究開発を通じて、美容・健康分野に貢献するとともに、グローバル市場での事業拡大を推進してまいります。

### ■ 今後の展望

オリザ油化では日本、米国、中国、マレーシアに続きタイでの特許取得により、サプリメントや化粧品の製品にも桜の花エキスの提案を世界レベルで積極的に強化してまいります。さらに、東南アジアを中心にブライトニング成分として人気のある「グルタチオン」と桜の花エキスを組み合わせることで、ブライトニング効果の指標であるチロシナーゼ阻害作用の相乗効果を確認し、特許を出願中です。国内外の食品メーカーおよび化粧品メーカー向けに桜の花エキスとグルタチオンの組み合わせ配合を積極的に提案してまいります。